

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況・内部検証

(単位：円)

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内訳				
						国県補助金等	臨時交付金対象額			一般財源
1	総務課	公共施設・集会所感染拡大防止対策事業	公共施設等における感染防止対策物品の購入経費	635,000	635,514		635,000	514	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルパーテーション 15台 ・スチール棚 3台 ・AI検温モニター 1台 	アクリルパーテーションは議場における飛沫の飛散防止に、スチール棚は感染予防対策関連物品の整理・保存に、AI検温モニターは来庁者に対する検温とマスクの着用確認を促すことで感染意識の醸成につなげることができたため、いずれも感染拡大の防止に資することができた。
2	農林商工課	鮫川村の食材PR・生産者支援オンラインイベント事業	村内の農作物生産者が出荷している直売所は来村者等による購買により売り上げを維持していたが、コロナの影響による来村者の減少により売り上げが低迷している。密集を防ぐため、Instagramを活用したオンラインイベントを行うことで、人を集めるイベントが出来ない状況下でも、普段では関わりの無いような幅広い地域を対象に鮫川村のPRを行うことが出来る。また、(公財)福島県観光物産交流協会の紹介もあり絶大な人気を誇る料理家の栗原はるみさんの出演が見込める。栗原はるみさんなど人気の料理家を通じて、料理に関心の高い層に対して村食材のPRを行うことで直売所の農作物や加工品等の宅配便の売上増や生産者等の農業経営の維持につながる。	1,647,000	1,647,360		1,647,000	360	鮫川村の食材PR・生産者支援オンラインイベント事業業務委託	「NHKみんなの今日の料理」を運営する(株)NHKエデュケーショナルと事業連携を図り、全国の幅広い地域対象に村の食材PRを行った。また、人気を誇る料理家(栗原はるみ氏)のキャスティングにより、食べ物に関心が高い層に対し村の食材を宣伝することで、宅配便の売上に努めることが出来た。
3	農林商工課	鮫川村大豆栽培持続化事業	本村は「まめ(豆)で達者な村づくり」の取組みの一環として大豆栽培を奨励し、農業の振興や特産品開発、高齢者の健康づくりを目標に展開している。大豆栽培により約14haの農地で営農が継続されており、全量買取り制度を実施するなど地域住民の雇用に寄与している。作業機械(自走式大豆脱粒機)の整備により大豆収穫をサポートすることで栽培者を増やし、収穫量を上げることで特産品開発に磨きをかけ、地域の魅力向上を図る。また、収穫した大豆の集荷作業や保管作業時に人との接触機会を減らし、三密防止のためプラスチックバレット及びネステナーラックを整備する。	2,740,000	2,740,000		2,740,000	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自走式大豆脱粒機 2台 ・プラスチックバレット 20枚 ・ネステナーラック 20台 ・アルミブリッジ(大豆脱粒機運搬用)1組 	本事業で購入したものは、R4年産大豆収穫作業で稼働しており、作業の効率化が図られている。また、例年より大豆の品質が良いとの評価もある。今後も安定的な大豆栽培に寄与するものと思われる。
4	農林商工課	鮫川村産地産地消推進事業	新型コロナウイルスの影響で村特産品の一つである味噌の販売が落ち込んでいる。そのため、村内全世帯に味噌購入引換券を配布する。味噌購入支援により地産地消を推進し、村内生産者及び加工者等の事業継続支援・次年度作付への意欲衰退防止・村内経済の活性化を図る。	488,000	488,400		488,000	400	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆振興対策事業用味噌引換券 1kg600円×814世帯 	村内産大豆を原料とした味噌引換券は、販売が落ち込んでいる時期にあっての売り上げ確保、生産者の生産意欲向上に有効であった。次年度の栽培意欲向上に繋がると期待される。

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画 事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内訳				
						国県補助金等	臨時交付金 対象額			一般財源
5	農林商工課	野菜等持続的栽培支援事業	アフターコロナを見据えた生産者の育成。新型コロナウイルスの影響で野菜等の消費が落ち込んでいる中、新たな生産者の確保・育成が課題となっている。そのため、栽培環境整備で最初の負担となるハウス設置費用の一部を支援する。これにより生産者の卵である野菜等栽培者を増やしていく。	1,500,000					申請者なしの為事業中止。	
6	農林商工課	地場産薪循環活用事業	さざり荘は薪ボイラーで温泉を加温し、来館者から多くの評価を得ている村自慢の日帰り温泉施設である。原料の薪は村内の薪が多く利用されており、薪の流通による地域経済の活性化と持続的な資源循環に寄与している。現在、10台の薪運搬ラックを活用し薪配達を実施しているが、薪ラックの台数が少ないため配達回数と薪ラックへの薪積み込み回数が多く、作業員や納入先従業員との接触回数を減少させる必要がある。また、薪運搬ラックの台数を増やすことで、納入先の在庫数や一度に配達できるラック数が増え、人との接触を減らすことで新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、本村の基幹産業である一次産業を守ることで地域経済の停滞を抑止する	814,000	814,000		814,000	0	・薪運搬ラック購入費 10台	薪運搬ラックを導入することにより、作業員同士の接触機会を大幅に減らすことができ、感染防止に努めることが出来た。 また上記の効果により、基幹産業である一次産業の衰退の抑制及び地域経済のさらなる活性化に一定程度寄与したと考える。
7	農林商工課	ワーケーション等支援事業	休業中の施設の利活用を進めるため、リモートワーク施設として施設の改修し、施設の有効利用を図る。	1,540,000	1,540,846		1,540,000	846	・防犯カメラ 一式 ・AI検温モニター 2台 ・手指消毒スタンド 1台 ・施設改修資材一式	利用者の検温が非接触で対応できたことで感染防止に努めることが出来た。
8	教育課	修学旅行キャンセル料助成事業	保護者の経済的な負担軽減を図るため	158,000	158,500		158,000	500	・修学旅行キャンセル助成費 6,340円×25人	修学旅行の日程及び先行変更に伴うキャンセル料を助成することにより、保護者の経済的な負担軽減を踏ることができた。
9	教育課	児童クラブエアコン設置事業	放課後児童クラブ運営にあたり、三密を防ぐため空いている部屋の環境を整備し、子どもたちを分散させて感染予防対策を講ずる。	253,000	253,606		253,000	606	・エアコン設置工事 1台	3密回避と手指消毒が徹底されて児童クラブ内における感染拡大はなかった。
10	こどもセンター	保育施設空間安全・安心確保事業	幼保連携型認定こども園において新型コロナウイルス感染防止ため衛生環境を整備する。	1,307,000	1,275,484		1,275,000	484	・除菌用セハノール40 ・接触型体温計5台 ・大人用マスク50枚入り48箱 ・小人用マスク50枚入り10箱 ・ソリューションウォーター3箱 ・泡ハイター10本 ・シャボネット石鹸液5kg15箱 ・ポリエチレン手袋20個 ・紫外線照射式おもちゃ殺菌庫2台	事業実施に伴い、こどもセンターの衛生管理に勤め、感染拡大の防止に繋がった。

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画 事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内 訳				
						国県補 助金等	臨時交付金 対象額			一般財源
11	農林商工課	【第3弾】地域げんき商品券事業	停滞している地域経済の活性化、住民の経済支援を目的に住民1人あたり10,000円分の商品券を発行する。	32,770,000	32,430,500		32,430,000	500	住民1人あたり10,000円分の商品券発行 使用(換金)枚数62,461枚×500円、商工会事務費1,200,000円	長引くコロナ禍に加え、物価高騰、原油価格の高騰の影響を受けている村民の家計負担の軽減と個人消費の拡大による地域経済の活性化を図ることが出来た。
12	教育課	スクールバス児童生徒感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染防止対策として、スクールバスの車内消毒作業を毎回約1時間実施している。また車内の密集を防ぐため乗車人数を制限し、通常1回の送迎を2回に分けて実施(分散登校)することにより感染リスクを低減している(分散登校により通常より約85分増加)。	2,006,000	2,500,300		1,972,000	528,300	・消毒作業委託料 ・分散運行委託料 ・ソリューションウォーター1003箱	3密回避と手指消毒が徹底されてバス内における感染拡大はなく、学校閉鎖は発生しなかった。
13	教育課	図書館除菌ボックス購入事業	村の図書館にある本を安心して借りてもらうため、除菌ボックスを設置し本の除菌を行う。	345,000	345,950		345,000	950	除菌ボックス 1台	本を1冊1冊除菌することができ新型コロナウイルス感染症防止対策に寄与した
14	農林商工課	買って送って農家応援事業	村内産野菜と福島県産和牛肉の宅配セットを帰省できない親族等に送り、農業者等の経営継続を支援する。	1,000,000	241,760		241,000	760	買って送って農家応援事業委託料	新型コロナウイルスによる各種宣言により、村内に帰省できない村出身者を支援し、村産物等を宅配する輸送料と国産牛肉の購入費用の一部を負担することで、村内の農畜産業者の経済活動を支援し村内の地域経済を図ることができた。
15	教育課	情報機器整備事業	GIGAスクール用タブレット端末の修理期間における代替機(予備)を整備し、遠隔学習機会等を確保する。また、各種会議がWEB会議に移行したことにより、これまで所有していたタブレット端末の台数では庁内の調整が難しくなっていることから追加購入をする。	853,000	846,384		846,000	384	・iPad 8台 ・モバイルルータ 3台 ・SIMカード 3枚	学級閉鎖時に各家庭から教室をつなぎオンライン授業ができて児童・生徒の学習の遅れを最小限にできた。
16	農林商工課	空き店舗活用支援事業	廃業となった村内温泉宿泊施設を取得したが、施設の不具合が発見されたことから村が施設の修繕を行い、村内唯一の温泉宿泊施設の新規起業を支援するとともに村の魅力を上向きさせ、新型コロナウイルス収束後に備えた賑わいある村づくりを進める。	887,000	887,700		887,000	700	・給水管修繕一式 ・食堂空調機部品交換修繕一式 ・雨樋等修繕一式	本村唯一の温泉旅館(旧つるや旅館)が廃業を受け、本施設を村が買い取り、再整備を行っていたが新たに修繕する箇所が出たために修繕を行い、施設運営者の負担を軽減することが出来た。
17	農林商工課	事業所支援給付金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている村内事業所の事業継続支援	3,760,000	3,300,000		3,300,000	0	鮫川村事業所支援給付金事業委託(村内60事業所×50,000円及び委託先事務費300,000円)	新型コロナウイルス感染対策の影響により、売上が大幅に減少している村内事業所における消費を促し、村内経済の循環を図ることで、早期の経済回復に努めることが出来た。

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画 事業費	実績額				事業経費内訳	事業実施による効果
					執行額	内訳				
						国県補 助金等	臨時交付金 対象額	一般財源		
18	農林商工課	鮫川村稲作農家 げんき回復支援 事業	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う外出自粛等により、業務用米の流通が停滞し、主食用米の消費が大幅に落ち込み、米価が下落し、農業経営がひっ迫した踏まえ、営農負担の軽減による農業者の生産意欲を喚起し、農業経営の安定と田園風景の維持を図る。	3,792,000	3,792,000		3,792,000	0	・鮫川村稲作農家げんき回復支援事業補助金 169.64ha×5,000円/10aの金額助成	18、19は同一事業。 該当農家249件、対象農地面積16,964a、補助金は8,420,000円となった。米価下落による営農負担の軽減を図ったことで農業経営の安定と次年度以降の営農継続に繋がり、田園風景の維持を図ることができた。
19	農林商工課	鮫川村稲作農家 げんき回復支援 事業	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う外出自粛等により、業務用米の流通が停滞し、主食用米の消費が大幅に落ち込み、米価が下落し、農業経営がひっ迫した踏まえ、営農負担の軽減による農業者の生産意欲を喚起し、農業経営の安定と田園風景の維持を図る。	6,208,000	4,690,000		4,690,000	0		
20	農林商工課	鮫川村稲作農家 げんき回復支援 事業	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う外出自粛等により、業務用米の流通が停滞し、主食用米の消費が大幅に落ち込み、米価が下落し、農業経営がひっ迫した踏まえ、営農負担の軽減による農業者の生産意欲を喚起し、次期作に対する農業経営の安定とゆうきの郷土づくり推進による田園風景の維持を図る。	12,500,000	10,080,000		10,080,000	0	・鮫川村稲作農家げんき回復支援事業補助金 主食用米作付面積に応じ金額助成 ・ゆうきの郷土推進事業補助金の補助金は2,000,000円となった。 米価下落による次期作の営農負担の軽減を図ったことで農業経営の安定とゆうきの郷土づくり推進による田園風景の維持を図ることができた。	鮫川村稲作げんき回復支援事業補助金の該当農家は242件、対象農地面積は16,160a、補助金は8,080,000円となった。 ゆうきの郷土推進事業補助金の補助金は2,000,000円となった。 米価下落による次期作の営農負担の軽減を図ったことで農業経営の安定とゆうきの郷土づくり推進による田園風景の維持を図ることができた。
21	教育課	学校保健特別 対策事業費補助金	学校における感染症対策等支援	1,800,000	1,808,625	900,000	900,000	8,625	新型コロナ感染症対策用品の購入。鮫川小学校、鮫川中学校の2校対象。	学校教育活動を円滑に継続することができた。
22	住民福祉課	原油価格高騰 対策補助事業	新型コロナウイルスの影響によりエネルギー価格が高騰しているため、冬期間における経済的負担の軽減を図ることを目的に生活困窮者の灯油等購入費の補助を実施する。	1,852,000	1,601,912	392,000	1,209,000	912	・生活困窮世帯へ10,000円の助成 生活困窮世帯（高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯であって市町村民税が非課税世帯）	長引くコロナ禍に加え、物価高騰、原油価格の高騰の影響を受けている村民の家計負担の軽減を図ることができた。
23	住民福祉課	子育て世帯等 臨時特別給付金 事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、国は、18歳以下の子どもに一人あたり10万円相当の給付を行うこととした。村においては、対象児童一人あたり10万円を、一括で現金給付した。しかし、児童手当の特例給付受給者については、所得制限により、支給対象外となったため、コロナ交付金を活用し、10万円を給付する。	801,000	800,000		800,000	0	・子育て世帯等臨時特別交付金 児童8人×100,000	児童手当の特例給付に該当し給付金の支給対象外となった受給者4人（対象児童8人）に対し、給付金10万円を給付した。これにより、受給対象者全員に一律して給付金が支払われ、家計負担の軽減を図ることができた。
				79,656,000	72,878,841	1,292,000	71,042,000	544,841		